

## 製紙(関連業者含む)によるバイオマスボイラーの新設計画 (※は日本紙パルプ商事が出資)

事業主体	設置工場	場所	発電能力(kW)	稼働時期	FIT活用	主な使用燃料
王子マテリア	富士工場	静岡県富士市	80,000	2015年3月	一部	木質チップ、RPF、石炭
王子グリーンエナジー日南	王子製紙日南工場	宮崎県日南市	25,400	2015年4月	全量	木質チップ、石炭
日本製紙	八代工場	熊本県八代市	5,000	2015年6月	全量	木質チップ(未利用木材)
中越パルプ工業	川内工場	鹿児島県薩摩川内市	23,700	2015年11月	全量	木質チップ(未利用木材)
王子グリーンエナジー江別	王子エフテックス江別工場	北海道江別市	25,400	2016年1月	全量	木質チップ、石炭
レンゴー	八潮工場	埼玉県八潮市	9,000	2016年初め	なし	木質チップ、PKS(ヤシ殻)
特種東海製紙	島田工場	静岡県島田市	23,000	2016年10月	なし	木質チップ(未利用木材)
三洋製紙	本社工場	鳥取県鳥取市	16,700	2016年12月	全量	木質チップ、PKS(ヤシ殻)、石炭
松江バイオマス発電※	島根県松江市	6,250	2015年4月	全量	木質チップ(未利用木材)	
野田バイオパワーJP※	岩手県九戸郡野田村	14,000	2016年4月	全量	木質チップ、バーカ、剪定枝、PKS	
合計			187,650			

RPFと石炭のタンクを一つずつと、木質チップのタンクを二つ備えている。各タンクで燃料を計量しながら、下部から火炉に投入し、

燃焼させている。この熱が、水を蒸気に変えて、熱転換が行われる。この蒸気圧でタービンを回して発電する

という仕組みだ。タービンは、既存の重油ボイラーのタービンを使っている。将来的にRPFの使用比率を拡大

燃料には、石炭、RPF、木質チップを使用しているが、今後三年間ほどでRPFの比率を引き上げていく

代替燃料としてのメリットがある。それぞれ調達の部門やルートも異なる。石炭は王子グリーンリソースの資源部、RPFは王子エコマテリアルの新燃料調達部、木質チップは王子木材緑化が、連携を取りながら、各サプライヤーから調達する。石炭は貯炭ヤードを他社と共に利用しており、安定した同利用ができる。RPFは関東から関西エリアの二十社ほどから調達している。木質チップは、静岡県内のチップ販売業者から調達。王子HDは国内に社有林を十九万ヘクタール保有するが、木質チップは社有林で発生したものだけには限ら

れない。特に樹種にも縛りはないという。

RPFの塩素分は〇・三%以上も受け入れ

ない。特に樹種にも縛りはないという。

ボイラーの増設ラッシュ

で燃料需給の逼迫も

今年既に稼働しているもの

のを含め、来年中までに製

紙メーカーで計八台の新設

ボイラーが立ち上がる。王子HDが三基で、日本製紙

と中越パルプ工業、レン

メートル。重油ボイラーよ

り高さがあるのは、バイオ

マス燃料は下部から吹き上

げ燃焼する時間がかかり、

そのため縦長の火炉が必要

なためだ。ボイラーには、

(二面に続く)

## バイオマスボイラー

## 王子は富士工場含めた三カ所で新設

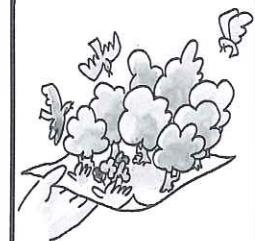


費	稼働	2015年3月~
投資額	約90億円	
製造メーカー	住友重機械工業	
燃焼方式	循環流動層	
タービン能力	80,000 kW	
蒸気量	230 t/h	
蒸気圧力	8.8 MPa	
蒸気温度	485 °C	
使用燃料	木質チップ、RPF、石炭	

今年四月、王子マテリア富士工場でバイオマスボイラーが稼働を始めた。各地でも製紙各社によるボイラー増設が相次ぐ。二〇〇九年頃までボイラーの新設ラッシュが続いた後、一時下火となっていたが、二〇一一年の全原発停止後から電力事情が一変。政府は二〇三〇年度までにエネルギー構成の二二・二四%を再生可能エネルギーで担う方針を打ち出す。製紙によるバイオマスボイラー設置は、CO<sub>2</sub>削減に貢献し、より安価な電源利用で製品の競争力を高めるだけでなく、売電を前提とした電力事業を本格的に進める動きにも繋がっている。

奈良市朱雀1-3-27  
www.kosijnl.co.jp  
(有)古紙ジャーナル社  
発行人 本願 貴浩  
TEL (0742)72-1798  
FAX (0742)72-1810  
E-mail info@kosijnl.co.jp  
購読料 年間32,400円(税込)

システムという森林を育てています。



日本紙パルプ商事  
<http://www.kamipa.co.jp/>

JIS規格によるRPFのグレードを全納入量で認める前提で、一部Bグレードを受け入れるという。RPFはBグレードを認めることで、Fの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるという。RPFはBグレードを認める前提で、一部Bグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい

る。JIS規格によるとRPFの品質グレードは塩素分によって、〇・三%以下がAグレード、〇・三%、〇・六%がBグレード、〇・六%以下がCグレードと分けられる。富士工場では各サプライヤーからBグレードを受け入れるとい